

建設業への理解を深めるため青森県消防学校と青森港県営上屋改築工事の現場を見学

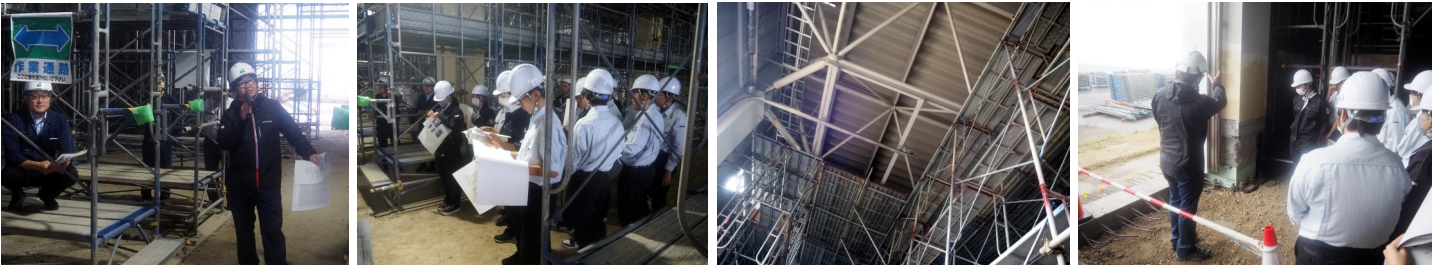
青森県立弘前高等技術専門校で建築を学ぶ総合建築科の学生を対象に、令和6年10月2日(水)に青森市にある青森県消防学校と青森港県営上屋の改築工事の現場見学を行いました。この見学は、建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、学生の「知りたい」と建設事業者の「知ってほしい」を結ぶ機会を創出し、若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図ることを目的に厚生労働省が行っている「つなぐ化事業」を活用して実施しました。



はじめに、青森県消防学校改築工事現場では財産管理課の担当者から工事概要の説明があり、その後、共同企業体の現場管理者から現在は管理棟、宿泊棟、教育棟、屋内訓練棟のスラブ配筋やコンクリート打設・養生をしているという説明がありました。



現場を監理する監督員の仕事の説明では、相関図で「どのような仕事をしているか」「一日の業務内容」などについて分かりやすい説明があり、現場監督は、「工事が計画通り適切に行われるよう現場を取り仕切り、作業や工程などを管理・監督することが仕事」ということを学ぶことができました。



午後は青森港県営上屋改築工事現場に移動し、建物内に入ると内部全体に足場が組まれていました。担当者からの説明では建物が倉庫となっているので通行の邪魔になりがちな柱を最小限に抑え、できるだけ無柱空間にすることと地震に強いTMトラス構造としているとのことでした。また、目の前が海ということもあり、地盤の不同沈下や液状化対策のため、TNF工法というローコストで環境にやさしい工法としているとのことでした。



見学した学生は、「工事の規模感、雰囲気、現場で使用されている機材及び現場の方々との意見交換をすることができとても勉強になりました」「座学で学ぶのと実際に見るのでは全然違って、自分の将来の視野を広げるよい刺激になりました」「私も4月から現場監督員として働くことになっているので、仕事の内容を理解することができました」などの感想がありました。

普段教科書では学ぶことのできない、大規模な工事現場を見学することができ、大変貴重な時間を学生と共に過ごすことができました。特に、建設現場での安全管理や最新技術の工法などを直接見学することができた学生たちにとって建設業界の現状と素晴らしさを知ることにつながったと考えます。最後になりますが、この見学会を実施していただきましたみなさまに心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。